

2 環境行政

(1) 行政機構

①環境保全課の組織

環境保全課は3担当で構成されており、環境の保全と創造、公害対策、自然環境、地球温暖化対策などの業務を担当しています。

環境 保 全 課	<ul style="list-style-type: none">・ 環境保全政策に関すること・ 環境保全に係る企画調整及び調査研究に関すること・ 環境保全の啓発及び普及に関すること・ 環境アセスメントに関すること・ 環境保全活動ボランティアの育成に関すること・ 公害の防止及び対策に関すること・ 工場及び事業所への指導に関すること・ 自然環境の保全及び再生に関すること・ 特定化学物質の排出量等の把握等に関すること・ 浄化槽の設置等の届出の受理その他浄化槽法に基づく事務のうち、大阪府から委任を受けたものに関すること・ 土砂埋め立て等の適正化に関すること・ 地球温暖化の防止及び対策に関すること・ 岸和田市環境審議会に関すること・ 岸和田市環境影響評価専門委員会に関すること	環境政策担当 事業所指導担当 土砂・自然環境担当
-------------------	--	--

2022(令和4)年4月1日現在の機構

(2) 行境計画進捗状況

①めざす方向（環境像）と基本目標

基本目標	指標の項目名	指標の目安	進捗状況	
1	人工海浜で確認された生きものの数	より多くの生きものの生息を目指します	368種 貝類：84種、甲殻類：32種 魚類：17種、陸上植物：49種 海岸性甲虫類：15種 昆虫類・クモ類：123種 鳥類：48種 (出典) きしわだ自然資料館「ちきりアイランドの人工干潟における環境保全活動実践業務」令和4年度報告書より	
	市民一人当たりの都市公園面積	8.6 m ² /人 *	9.3 m ² /人	
	施設緑地面積	345.05ha *	354.60ha	
	里山保全活動数	毎年、増加を目指します	2,531人	
2	環境基準の達成	すべての項目での環境基準達成	大気	
			項目	達成状況
			二酸化硫黄	○
			二酸化窒素	○
			一酸化炭素	○
			光化学オキシダント	×
			浮遊粒子状物質	○
			微小粒子状物質	○
			ベンゼン	○
			トリクロロエチレン	○
			テトラクロロエチレン	○
			ジクロロメタン	○
			騒音	
			地域	達成状況
一般地域	○			
道路に面する地域	×			
航空機騒音	○			

			水質（公共用水域）		
				牛滝川高橋	春木川春木橋
			健康項目	○	○
			生活環境項目	×	○
			水生生物の保全の項目	○	-
			水質（地下水）		
			地点	達成状況	
			概況調査	○	
			継続監視調査	×	
			ダイオキシン類		
			項目	達成状況	
			大気	○	
			河川水質	○	
			河川底質	○	
			土壌	○	
生活排水適正処理割合	90.0% *	91.1%			
3	市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量	4.0 t-CO2 *	4.2 t-CO2 （2020（令和2）年度）		
	市民1人1日当たりの一般家庭普通ごみ排出量	401.3 g *	402.5 g		
	事業系ごみ年間排出量	30,561 t *	30,631 t		
	リサイクル率	14.7% *	11.7%		
4	地域の環境保全活動数	毎年、増加を目指します （2022（令和4）年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一部の活動が中止になっています）	1,455人		

※ *は「岸和田市まちづくりビジョン(第4次岸和田市総合計画)第3期戦略計画」で設定されている目指そう値。

②計画の体系

「目指す方向（環境像）」と「基本目標」の実現に向けて、「取組の方向性」と「施策」を次のように整理し、計画を推進します。

	基本目標 (環境指標)	取組の柱	取組方針
目指す方向 (環境像) 自然を友に人 ・ まち ・ 未来	1 生物多様性に配慮し、人と自然との共生を図る (人工海浜で確認された生きもの数、市民1人当たりの都市公園面積、施設緑地面積、里山保全活動数)	(1) 生物多様性の保全	①生態系に配慮した自然環境の保全と創出
			②水とみどりの保全と創出
			③生きものや自然とのふれあいの促進
			④外来生物への対応
		(2) 自然資源の利用の促進	①豊かな自然資源の活用
			②環境と調和した安全・安心な農水産物生産の推進
	2 健康で安全に暮らせる潤いのある環境を形成する (環境基準達成状況、生活排水適正処理割合)	(1) 生活環境の保全	①健康に過ごせる生活環境の保全
			②新たな環境課題への対応
		(2) 快適で美しいまちづくりの推進	①快適環境の保全とモラル・マナーの向上
			②地域の特性に応じた景観の保全と創造
		(3) 健全な水環境・水循環の創出	①水環境の保全
			②水資源の確保と有効活用
	3 持続可能な循環型社会を形成する (市民1人当たりの年間温室効果ガス排出量、市民1人1日当たりの一般家庭普通ごみ排出量、事業系ごみの年間排出量、リサイクル率)	(1) 低炭素な暮らしや事業活動の推進	①低炭素なまちづくりの推進
			②省エネルギー・再生可能エネルギーの活用推進
			③環境に配慮した移動手段対策の推進
		(2) 減量化・再使用・再資源化・適正処理の推進	①廃棄物の発生抑制の推進
②再資源化の推進			
③適正処理の推進			
4 環境を大切にしたい価値観の醸成と活動を促進する (地域の環境保全活動数)	(1) 環境に関する情報の公開・提供の推進		
		(2) 地域の環境保全活動・環境教育・環境学習の促進	

(3) 地球温暖化対策

①岸和田市の状況

(ア) 温室効果ガス排出削減目標と目標年度

2021(令和3)年2月改定の岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)(※)において、温室効果ガス排出削減の計画期間を、2020(令和2)年度から2030(令和12)年度までとし、削減目標及び基準年度と目標年度は下記のとおりとしています。

- 基準年度：2013(平成25)年度
- 目標年度：2030(令和12)年度
- 長期目標年度：2050(令和32)年度



※ 岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)は令和5年度中に改定予定。

(イ) 二酸化炭素の排出状況

岸和田市域における2020(令和2)年度の二酸化炭素排出量は約804千t-CO₂です。前年度と比べると0.75%増加しており、コロナ禍により自宅滞在時間が長くなり、家庭でのエネルギー消費が増えたことが要因として考えられます。

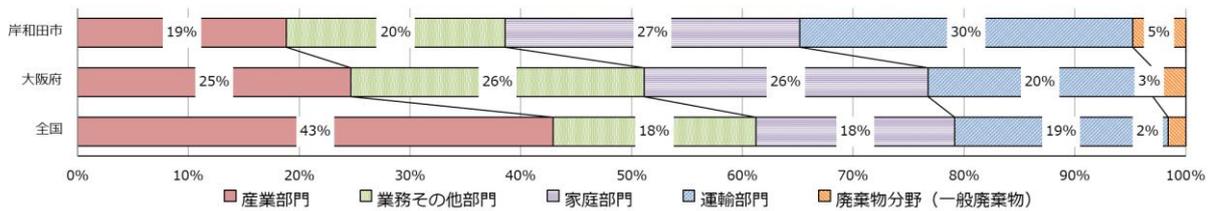
2021(令和3)年2月に策定した岸和田市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)では、2030(令和12)年度の市域の温室効果ガス排出量を2013(平成25)年度比で30%以上削減することを目標として設定しています。2020(令和2)年度の市域の温室効果ガス排出量は、計画の基準年度である2013(平成25)年度比で28.7%削減しています。

部門・分野別の温室効果ガス(CO₂)排出量の経年変化(岸和田市)

部門・分野	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
	2013年度 排出量 (千t-CO ₂)	2014年度 排出量 (千t-CO ₂)	2015年度 排出量 (千t-CO ₂)	2016年度 排出量 (千t-CO ₂)	2017年度 排出量 (千t-CO ₂)	2018年度 排出量 (千t-CO ₂)	2019年度 排出量 (千t-CO ₂)	2020年度 排出量 (千t-CO ₂)
合計	1,082	1,050	1,019	996	925	835	798	804
産業部門	204	208	217	211	183	162	154	152
製造業	194	192	199	194	168	148	141	130
建設業・鉱業	8	8	8	7	7	7	6	7
農林水産業	2	9	10	10	8	7	8	15
業務その他部門	287	266	244	222	200	174	166	159
家庭部門	281	272	255	256	240	194	173	214
運輸部門	287	278	278	276	272	268	262	241
自動車	268	260	260	258	256	253	247	227
旅客	156	149	148	148	146	144	139	123
貨物	112	111	111	111	110	109	107	104
鉄道	16	15	14	14	13	12	12	12
船舶	3	3	4	3	3	3	3	3
廃棄物分野(一般廃棄物)	23	26	25	31	30	37	43	39



部門・分野別構成比の比較 (都道府県平均及び全国平均)



※ 環境省自治体カルテをもとに作成

※ 四捨五入の関係で、個々の数値の和と合計は必ずしも一致しません。

②地球温暖化対策設備導入補助事業 【2022(令和4)年度実績】

岸和田市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）に基づき、温室効果ガス排出量削減と、地球温暖化対策設備の普及・促進を図ることを目的として、住宅又は集会施設に太陽光発電機器及び定置用リチウムイオン蓄電池若しくはHEMSを同時に設置しようとする人、又は燃料電池コージェネレーション機器を設置しようとする人に補助事業を実施しました。

(ア) 対象者

市民又は岸和田市町会・自治会

(イ) 補助金の対象機器と交付額

対象機器

- ① 太陽光発電機器＋蓄電池 ② 太陽光発電機器＋HEMS ③ 燃料電池

交付額 一律5万円

(ウ) 申請件数

- ① 太陽光発電機器＋蓄電池 34件
 ② 太陽光発電機器＋HEMS 3件
 ③ 燃料電池 61件

(4) 環境教育の推進

①きしわだ環境フェア

環境月間である6月に、環境教育・啓発のために環境フェアを開催し、多様な主体が協力して、取組を一体的かつ集中的に情報発信し、環境に対する意識及び知識の向上を図りました。

日 時 令和4年6月5日(日)

場 所 ラパーク岸和田キスパプラザ(春木若松町21-1)

内 容 環境保全の取組などについて、パネル展示を行いました。

出展者と出展内容は次のとおりです(順不同)。

大津川水域水質保全対策協議会	河川の水質と水生生物について
神於山保全くらぶ	神於山保全活動状況について
シャープ社友会 チーム神於山	フクロウの棲む森づくりについて
パナソニック株式会社	環境教育の取組について
岸和田市消費生活研究会	活動内容について(作品の展示含む)
岸和田市食生活改善推進協議会	食生活について
きしわだ自然友の会 きしわだ自然資料館	岸和田の自然について
企画課	市制施行100周年について
廃棄物対策課	きれいなまちづくり条例、プラスチック製容器包装の分別再確認、3Rについて
岸和田市環境保全課	地球温暖化対策、自然環境、生物多様性について

来場者数 約330人

②岸和田・貝塚3Rふれあいフェア

岸和田市、貝塚市及び岸和田市貝塚市クリーンセンターの合同イベントとして、7月に岸和田市貝塚市クリーンセンターで、「岸和田・貝塚3Rふれあいフェア」を開催し、廃棄物のリサイクルなどについて啓発を行いました。

日 時 令和4年7月2日(土)

場 所 岸和田市貝塚市クリーンセンター(岸之浦町1番地の2)

内 容 工場見学やエコバッグ作成、牛乳パックの工作、エコマジックショー、子ども服の交換会などを行いました。

来場者数 541人(延べ数)

(5) 市民活動との協働

①春木川・轟川をよくする市民の会

(ア) 目的

春木川・轟川流域の河川・水路等の環境問題について地域の住民が自主的に話し合い、関係機関との連絡、調整を図りながら協働して諸活動を進め、流域の豊かな水辺環境を取り戻し、うるおいのある地域づくりを進めること

(イ) 参加団体・個人

結成平成8年11月 流域53町会、学校関係15団体、各種25団体、個人17名

(ウ) 取組

■春木川・轟川一斉清掃

源流の神於山（北阪町）から河口（春木泉町）まで、およそ11kmを年2回一斉に清掃しています。

2022(令和4)年10月23日 参加者：678名 ごみ収集量：2.56t

2023(令和5)年3月12日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止

■ホタル再生部会

春木川の水質が改善しつつあるなか、再び川面にホタルを飛び交わせたいとの思いから、2009(平成21)年2月6日、ホタル再生部会が設置されました。同年9月8日の第1回部会以来、ホタルの種類と生態を学習するほか、ホタル再生に向け、生息地の調査などを重ねています。

②葛城の谷市民協議会

(ア) 目的

津田川の自然を守り、後世に引き継ぐこと

(イ) 参加団体

旭・太田、天神山、修斉、東葛城の各地区市民協議会

(ウ) 取組

■津田川一斉清掃

源流から虎橋までを一斉に清掃。

2022(令和4)年10月23日 参加者：318名 ごみ収集量：1.61t

2023(令和5)年3月12日 参加者：459名 ごみ収集量：1.55t

③牛滝川・松尾川を守る会

(ア) 目的

牛滝川・松尾川の美化と環境保全

(イ) 参加団体

全八木、山直北・城東、山直南、山滝の各地区市民協議会

(ウ) 取組

■牛滝川・松尾川一斉清掃

牛滝川の源流から高橋まで、松尾川の角川橋付近から郡界橋付近までを一斉に清掃。

2022(令和4)年11月20日 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止